

広島で学んだこと

吉川一希

一  
希

て禎子さんと同じ小学校に通っていだ見童た  
ちが禎子さんとのことを思ひ、子ども達だけで大きな  
寄付をし原爆の子の像を建てたと言ひます。  
そのことを考えると、子ども達だけでも大き  
像を造つてしまふといふことは、とても大変  
です。ごはんとだと思ひました。また千羽鶴も  
治ると聞いて始めたものだと知りました。  
そして一番心に残つたのは、広島市平和記  
念式典です。式典では、二ども代表によ  
る「平和への誓い」がありました。  
「大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを  
受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝  
統けたい。」  
平和への誓いの中に出でました。  
「平和への誓い」がありました。

黙とう中は平和の鐘がなり響かして、  
そして八月六日午前八時十五分、黙とうか  
の怖さと非慘さを伝えています。  
の友達など色々な人に広島に落とされた原爆  
と「言葉に深く共感しました。僕も学校  
受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝  
統けたい。」  
大切なものを持ち去られた被爆者の魂の叫びを  
受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝  
統けたい。  
平和への誓いの中に出でました。  
「平和への誓い」がありました。

いっていました。僕は一分間の黙とうの中、  
月六日午前八時十五分にあつた出来事を想像  
してみました。そして、平和と言う言葉を何  
度も頭の中に思へば、平和を祈りました。  
今回僕は、この広島市平和記念式典児童派  
遣事業に参加して広島のことにつけて色々な  
ことを学びました。この貴重な体験で学んだ  
多くのことを生活に生かし、また、広島の人  
たちの平和への思へりを学校の友達や知り合  
など多くの人に話したいと思ひます。

貴重な経験をありがとうございました。